

第5回 34歩く会

トロの森と八国山を歩く・いき帰り堤防を歩きます

前回、玉川上水・小金井公園はみなさん良く歩きました。6時間以上、歩数で26000歩、まさに歩く会でした、でも充実感があり、楽しい会でした、今回は少し軽めの3時間です。集合が武藏大和駅なので間違えないように来てください。

日時：平成22年10月16日（土）

集合：西武線の武藏大和駅（午前10時集合）

行程：

武藏大和駅——村山貯水池堰堤（ト）——西武園（ト・コンビニ）——狭山丘陵いきも

10:00 10:15 10:30 11:00 11:15

のふれあいの里（ト）——荒畠富士（昼食）——トロの森2号地——久米水天宮

12:00 12:30 13:15 13:20 13:30

佛眼寺（ト）——八国山——西武園駅（ト）——村山貯水池堰堤（ト）——

——武藏大和駅（解散）——東大和駅

13:40 13:45 14:30 15:15 バスで（15・42）

我らが村山貯水池の下堰堤を渡り、「狭山丘陵いきものふれあいの里」に寄って狭山丘陵の鳥や虫たちの標本を見たり説明を聞きます。そこから荒畠富士に登ります。富士山や新宿の高層ビルや西武ドームなど雄大な景色が見渡せます。ここで昼食の後、トロの森に行きます。トロの森は1号から10号地まであります。今回は2号地をあるきます。今にもトロが出てきそうな山道を歩き、安産の神様として参拝者が多い久米の水天宮に寄ります。ここから少し下り、八国山に登り尾根道を歩きます。八国山の遊歩道は整備され里山の道で、森林欲を心行くまで満喫できるでしょう。

集合場所の武藏大和駅にはコンビニがあります。駅を出てガードをくぐると西側に駐輪場がありますので、ここまで自転車で来て「参加するのも」かのうです。又東大和市駅から西武バス東村山行き9時17分と49分がありますので、小川から電車で行くより早いかもしれません。

10月16日ですので、日差しも強く、暑いのでペットボトルなどを持参し、水分に補給してください。

武藏大和駅で解散ですが、混合クラス会は今回、A組の西博也さんの息子さんの店[貳拾四文]で開催しますので、混合クラス会のみの参加もOKです。PM5時から

場所は南街いなげやと多摩信金との間にあります。

2010・8・10

川鍋正義・伊澤克夫

第5回 34歩く会

式中華風の吉野

「トトロの森と八国山を歩く」；歩行記

2010年10月16日記 川鍋正義

今日は、素晴らしい秋晴れの清々しい日！ 西武線の「武藏大和駅」に「34歩く会」の元気な仲間達が、9時半過ぎから次々に集まり、23名が集合した。武藏大和駅は改修工事中で、重機の音がうるさい。そんな工事現場をバックに、元気な我々の出発に先立ち記念写真を撮る。今日は立川の昭和記念公園で、正月の箱根マラソンの予選会があり、立川方面は車が渋滞しており、仲間の乗ったバスも少し遅れて到着。

青空の下、10時10分に武藏大和駅を元気に出発。都立狭山公園に入り、樹間の木漏れ日の道を気持ちよく進む。お互いに、おしゃべりが忙しい。「たっちゃん池」の所から階段を登り、村山貯水池の堰堤の南に出る。(10:30) 堰堤の脇の芝生の上で、大貫さんの指導でストレッチをした後に、取水塔の所の広場に出る。2年前の34歩く会の時と同じ場所で、記念撮影をする。この広場の石疊には、村山貯水池関連の、多摩川からの取水、貯水池、浄水場などのルートが描かれている。

新装なった堤防は広く快適で、沢山の人達が歩いている。貯水池には青空が写り、取水塔や西武ドームも見えて、心豊かに癒されるようだ。堤防の反対側には、遠く新宿の高層ビルも見える。堤防を渡り、西武園の脇に来ると、ジェットコースターが大きな音を立てて滑り降り、歓声や悲鳴も聞こえる。貯水池のほとりには、村山貯水池の建設に功績のあった中野昇技師の記念碑が建っている。

菊水亭の近くのコンビニで昼食を購入して再出発。(11:00)

西武園の北側の鬱蒼とした薄暗い森の中の道を下って行く。やがて視界が広がり、フェンスに沢山の草花を架けた家の前を通り、西武ゴルフ場の外周の道に出る。フェンスの中では、緑の芝生の上でゴルフのプレーをしているのが見える。

木漏れ日の坂道を登って行くと、やがて「狭山丘陵いきものふれあいの里センター」に到着。館内の入ると、狭山丘陵周辺の木々や動物、昆虫などの自然が展示されている。学芸員の方がおり、いろいろと説明し、質問に答えてくれる。オオスズメバチの標本もあり、タヌキの剥製もある。このタヌキは、交通事故のあったものを剥製にしたそうだが、犬ほどの大きさで、愛嬌がある。タヌキは我々の家にも時々現れ、親しみやすいヤツだ。

「狭山丘陵いきものふれあいの里センター」から坂道を100m程登ると、「荒畠の富士」がそびえている。この富士山は、富士信仰の一つで、古くからあったものを明治17年頃、15年の歳月をかけて荒畠村の村民達が再構築したものだ。

富士山の麓の浅間神社の鳥居をくぐり、全員が次々に富士登山をする。登山道は狭く、すれ違い出来ないほどだが、1合目から10合目までの石の標識もある。頂上に立つと、我々23名で満員になってしまった。頂上からは360度見晴らせ、素晴らしい景観で、「彩の国景観賞2008」にも指定されている。

北には三ヶ島方面の街並みや建設中のビル群が見え、西には西武ドームの白い屋根が見える。もう少し天気が良ければその向こうの奥多摩の山の上に、薄化粧した本物の富士山が見えるのだが今日は雲の中だ。南は視界が広く立川方面が見渡せ、東には新宿の高層ビル群が見え、何とその向こうには建設中のスカイツリーが薄く見える。スカイツリーは現在480mで、第2展

望台の建設中だ。

「荒畠の富士」から下山し、麓の東屋で、待ちに待ったお弁当を広げる。爽やかな風が吹き抜ける木漏れ日の下で食べるお弁当の、何とおいしいこと！旧来の友と心置きなくおしゃべりしながら食べることの、何と幸せなことか！お互いの気持ちは50年前に戻っているようだ。

昼食後、12:30に再出発。ゴルフ場の外周に沿った林の中の坂道を下る。豊かな湧水が流れ出している。道の脇には柿の木があり、手の届くところに黄色く色づいた食べ頃の柿がたわわにぶら下がっている。顔を近づけてそっと触ってみる。

その先の立派なお寺「光蔵寺」の前の道路を横切り、坂道を登る。途中には広大な敷地に、大きな凝った建物が建っている家もある。

やがて、鬱蒼とした森の中の道に入る。しばらく行くと、「トトロの森2号地」だ。宮崎駿監督のアニメ映画「となりのトトロ」の舞台のモデルになった場所だ。「トトロの森」は、自然を残そうという運動のおかげで、狭山丘陵に1号地から10号地まで点在している。このあたりは今にも「トトロ」や「猫バス」が出てきそうな鬱蒼とした森の中だ。

この森の中を進むと、やがて「久米の水天宮」に出る。

この「久米の水天宮」は、安産の神様として有名で、所沢方面の人はもちろん、東大和の人達も「戌の日」にはお参りし、大変に賑わう。家内安全、子供達の安産をお祈りして一休み。

ここから坂を下ると、「仏眼寺」が眼下に見え、その向こうにはこれから登る八国山が大きく広がっている。八国山へは長い急な階段を登り、尾根道に出る。この尾根道は林の中にあり、広くて歩きやすい木漏れ日の道だ。足に伝わる土の感触が心地よい。しばらく行くと、右手には谷の向こうに、先ほど歩いてきたトトロの森などが見える。

気持ちの良い尾根道を歩いて行くと、西武ゴルフ場手前の芝生の広場に出る。ここで一休み。女性の何人かが、四つ葉のクローバーを探していたが、なかなか見つからない。

西武園駅を通り、競輪場の脇を通り、西武園入り口を過ぎると、再び村山貯水池の堤防に出る。帰りは堤防の下を通ることにする。狭山自然公園の資料館の前に来ると、コスモスが満開になっているので、この前で記念撮影。

10月半ばというのに日差しが強いので、林の中を歩き、「たっちゃん池」から「太陽の広場」に出て、武藏大和駅へ！

一人の落伍者もなく全員元気で、予定通り2時50分に武藏大和駅到着し、ここで解散。

懇親会（同窓会）は、4時から南街の西さんの息子さんの店「式拾四文」で開催することにする。自転車以外の十数人はバスで行く予定だったが、全員が南街まで歩いてしまった。

何とまあ、元気なこと！普段通らないような道を歩くのも楽しいものだ。

「式拾四文」には、ウォーキングに参加した人18名を含め25名が参加し、大盛況であった。全員の近況報告などがあり、大いに盛り上がって8時頃にお開きとなった。

次回は、23年5月14日（土）に「かたくりの湯とトンネルウォーク」だ。モノレールの「上北台駅」に集合し、芋窪を通り、村山貯水池の周囲道路を進み「かたくりの湯」へ。

そこから貯水池建設に使用されたトンネルの中を歩く。新茶の季節であるので、製茶工場に寄り、工場見学をしよう。もしかしたら、「狭山茶」の新茶がいただけるかも・・・